

研究課題名

血液透析患者におけるエリスロポエチン(EPO)抵抗性が生命予後に与える影響について

研究責任者の氏名

研究責任者: 矢島 隆宏

研究の目的および概要

血液透析患者さんは、腎性貧血に対して、一般的にエリスロポエチン (EPO) にて治療している。近年、EPO 抵抗性 or EPO (低反応性) EPO を投与しても貧血が改善しにくい)が透析患者の生命予後を増悪される可能性が報告されています。また、EPO 抵抗性の一因として、栄養障害の可能性も指摘されています。EPO 抵抗性に対しては EPO 抵抗性指数 (ERI:一週間当たりの EPO 量、体重より算出)、栄養障害に対しては GNI (Alb、身長、体重より算出) を用いて、レトロスペクティブに生命予後との関連を評価します。

対象は、年齢が 20 歳以上で半年以上当院にて外来維持透析中の患者さんです。なお、腎性貧血に対して、相互換算可能なダルベポエチンとエポエチンベータで治療中の患者さんを対象とします。

この研究は過去のカルテ情報から後ろ向きに検討することから、患者さんに負担を強いることはありません。一方で、EPO 抵抗性と生命予後との関係を明らかにすることにより、透析患者さんの人生貧血治療を工夫し、生命予後をさらに改善させることができるかもしれません。

この研究で得られた情報は、研究責任者が病院内のインターネットに接続できないコンピュータに保管し、研究終了後 5 年間保存後破棄します。

利用する情報の項目

自動分析装置で測定された検査データと診療記録

連絡先

松波総合病院 研究担当者

〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町田代 185-1

TEL 058-388-0111 (代表)

松波総合病院 腎臓内科 矢島 隆宏